

第8回

残しておきたい「ふるさと北播磨」

写真コンテスト入賞作品

【応募総数】 332点 (169名)

うち一般部門163点62名・中・校生部門169点107名

【応募期間】 令和3年5月10日～令和3年12月3日

募集要項

- 1 内容 北播磨県民局管内の「残しておきたい『ふるさと』の今」をテーマとした写真にコメントを付けたもの。
- 2 主催 兵庫県北播磨県民局
- 3 後援 神戸新聞社
- 4 応募要領 令和2年12月1日から令和3年11月30日までに撮影した未発表の作品。応募点数は一人5点まで。作品と題名、コメント(百字以内)、撮影場所または行事名、撮影年月日、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、「一般部門」は郵送または持参、「中・高生部門」は専用webページから応募。
- 5 賞
「一般部門」
最優秀賞 1点/3万円分の図書カード
優秀賞 3点/1万円分の図書カード
特別賞 10点/5千円分の図書カード
佳作 10点/5千円分の図書カード
「中・高生部門」
最優秀賞 1点/1万円分の図書カード
優秀賞 3点/5千円分の図書カード
佳作 10点/2千円分の図書カード
審査会終了後、該当者に通知。フィルム of の原版またはデジタルデータ提出により受賞確定。兵庫県北播磨県民局のホームページ等で発表。
- 6 発表 審査会終了後、該当者に通知。フィルム of の原版またはデジタルデータ提出により受賞確定。兵庫県北播磨県民局のホームページ等で発表。
- 7 著作権 入賞作品の著作権は、撮影者に帰属。使用権は、兵庫県北播磨県民局に帰属。
- 8 活用方法 北播磨県民局管内の施設やイベントで展示、ホームページ等でも紹介。

審査員

廣岡 徹 (ひろおか とおる)

兵庫教育大学大学院 元教授

藤家 武 (ふじいえ たけし)

兵庫県生きがい創造協会 生涯学習アドバイザー

上田 賢一 (うえだ けんいち)

神戸新聞社編集局映像写真部次長
兵庫県北播磨県民局長

《審査員全体評》

一般の部については、やはりコロナ禍の影響が及び、祭事やイベントの多くが中止になったことから、シャッターチャンスが自ずと制限されたようで、いわゆる定番の場所が少なくなりました。また、そのせいもあってか、「これは！」と思わせる作品が少なかったように思われます。見方を変えると、魅力の拮抗した作品が多く、選考についてけっこう考えさせられました。

高校生の部は、昨年の入賞作を意識した作品が多かったように思われます。ちょっと視点を变えて、昭和を感じさせる街角や地場産業に関連する風景や人々も被写体として考えてみてください。一方で、何げないいつもの通学路で気づいた風景も多くあり、それぞれ故郷での青春の一コマという作品で、好感が持てました。

なお、一般、高校生ともに、題名やコメントにもう少し注意を払ってみてください。コメントによって審査員に新たな気づきがあれば、見方も、また変わってきます。

(廣岡審査員)

8回目になる当コンテストも地域の魅力を再発見するイベントとして定着していることが応募者の広がりから読み取れます。北播磨地域に住んでいる人だけでなく、近隣の加古川市や姫路市をはじめ、神戸阪神間や京都府からの応募があることもその証でしょう。

今回、初めて審査に加わりましたが、それぞれの地域の旬を知り尽くしている人たちが応募しているとあって、甲乙付けがたい作品が少なくありませんでした。新型コロナウイルスへの警戒で通常の祭りやイベントが中止や縮小になっても、魅力あふれる被写体を次々と発掘できているのは、地域愛の結実だと思います。

中・高校生部門も2回目を迎え、中学生の参加が増えました。テーマの「残しておきたい」を若者の目線で切り取った世界は興味深く、身近なものをとても大切にしていることが伝わってきました。技巧に走らず、直球勝負で被写体に迫る姿勢は写真撮影の原点なのだと再確認しました。

(藤家審査員)

一般部門



青いじゅたん



撮影場所：小野市 ひまわりの丘公園

鳥居 竹夫 (明石市)

《撮影者コメント》

小さな可憐な花ネモフィラがブルーの絨毯を敷きつめたようで爽やかな気持ちになります。

《審査員講評》

▼並べられた多くの作品の中で、パツと画面いっぱいの「青」に目が引かれました。ひまわり公園といえば黄色いひまわり、と思いきや、そうではなく青いネモフィラという意外性が面白い。青い空に青い花がひときわ輝きます。ひまわり公園の違ったイメージを引き出しました。

(廣岡審査員)

▼青空と青い花「ネモフィラ」が画面いっぱいに広がる気持ちのいい1枚です。手前の花に飛来したミツバチの動きをマクロな視線で捉えながら、奥の並木までを広い視野で切り取る構図を実現されており、作者の巧みな撮影技術を伺い知ることができます。足元に広がる何気ない世界を、驚きを持って再発見させてくれました。

(藤家審査員)

※撮影者のコメントは原文のとおり掲載しております。

一般部門



白のソーシャルディスタンス



撮影場所：加西市 大池

齋藤 倫政 (加西市)

《撮影者コメント》

サギもコロナを気にしているのか、見事なまでのソーシャルディスタンス。こんなにきれいに並んでるのは初めて見ました。

《審査員講評》

▼思いがけない情景との出会い。いつもカメラを手にしているからこそそのシャッターチャンスではないでしょうか。申し合わせたように等間隔の杭にとまり、これからどうするのでしょうか？なんとも不思議な光景です。もう少し手前に引き寄せてもよかったですか、どうでしょう？

(廣岡審査員)

▼静寂に包まれた池の中でサギが等間隔で羽を休めている様子は、題名の通りコロナ禍で当たり前になった人間界のお作法をイメージさせます。緑がかったモノトーンの世界にサギの白い姿が映えて、まるで絵画に描かれた世界のようにです。

(藤家審査員)

※撮影者のコメントは原文のとおり掲載しております。



シャボン玉にも秋



撮影場所：三木市 三木山森林公園

鵜渡 源一郎 (明石市)

《撮影者コメント》

散歩をするために三木山森林公園へ行くことがあります。紅葉には少し早いかと思いましたが木々は美しく色づいていました。イベント広場の木の下では子供達が大きなシャボン玉を飛ばして遊んでいました。

《審査員講評》

▼画面中央のシャボン玉が、全体の雰囲気を生み出しています。秋の気配以上に、幼児期の屈託のなさ、幼い頃への懐かしさをうまく醸し出しました。穏やかな秋晴れの下で、それぞれに遊ぶ子ども達。俗っぽくいうと、メルヘンを感じさせます。

(廣岡審査員)

▼2人の子どもを中心に秋の深まりとともに色づく公園の日常を切り取っています。子どもが作った大きなシャボン玉には薄らと周囲の紅葉も映り込んでいますが、つややかな球体はどこかの惑星のようにも見え、不思議な雰囲気を出しています。

(藤家審査員)

※撮影者のコメントは原文のとおり掲載しております。



バルーンと花火の競演

明野 敏行 (加古川市)

撮影場所…加西市 鶉野飛行場跡 (ハッピーバルーンクリスマス)



《撮影者コメント》

バーナーの炎で美しく光る気球のイルミネーションと、花火が夜空を彩ります。

《審査員講評》

▼遠くの花火と手前のバルーンの競演。まさに一瞬のチャンスをものにしました。漆黒の背景が、いつそう鮮やかさを際立たせますが、また、やや物足りなさも感じます。バルーンはこれから上昇するのでしょうか？バルーンと花火、それぞれの位置によつて、また、違った光景のシャッターチャンスがありそうです。

(廣岡審査員)

▼バーナーから吹き上がる炎が気球を暗闇の中に浮かび上がらせる風景を臨場感いっぱいに取り取っています。背景には大輪の花火も打ち上がり、作者の興奮が現場に響き渡った音と一緒に伝わってくる一枚です。

(藤家審査員)

一般部門

一般部門

《撮影者コメント》
私が子どもの頃は観光地として多くの人々で賑わっていました。でも今は人影も少なくひっそりしていますが、滝の流れは今も昔も変わりません。

撮影場所：加東市 鬮竜灘



特別賞

朝焼けの滝

森本 義隆
(加東市)

《撮影者コメント》

沿道の小さな神社です。巨大な樹木も見所で、秋には彼岸花で染まります。



撮影場所：西脇市 大歳神社

赤い絨毯

徳岡 千津子
(西脇市)

一般部門

《撮影者コメント》

長い間、川さらしと皮むきでしたけども、今回ちょうど蒸上がりの皆様は熱々なのに平気で楮の枝をはぎとっている。初めての蒸気の中で写真撮影はおどろいています。前が見えない。

楮こうぞの熱々蒸気の中

荒木 孝允（丹波市）



撮影場所：多可町 鳥羽 杉原紙研究所

空を見上げて

林 雅美（小野市）

《撮影者コメント》

小野市の有名スポットになっている広大なひまわり畑。この夕景とのコラボはほんとうに綺麗で毎日の空模様を楽しみのひとつ。この日は空に羽を広げた様な雲が出てきて訪れた人達の歓喜の声を耳にシャッターを切りました。



撮影場所：小野市 小野市立ひまわりの丘公園

※撮影者のコメントは原文のとおり掲載しております。

一般部門



難行苦行

堀内 千鳥 (三木市)



撮影場所：小野市 小野アルプス紅山

《撮影者コメント》

恐怖の山も毎年登っていると楽しくなります。



撮影場所：加東市 上久米 イートランドの桃園

とじさんの桃園

伊藤 ふさ代 (加東市)

《撮影者コメント》

主人が、元気ががんばっています。76歳になりました。いつまで作れるか？今年もピンクのかわいい花をみることができました。感謝でいっぱいです……

一般部門

《撮影者コメント》

強い日差しの中、高く水煙を巻き上げ、広い水面を颯爽と疾走する姿は、大切にしたいものです。



撮影場所：加東市 上三草

颯爽

國廣 篤 (神戸市)

旅立ち

福田 雄一郎 (姫路市)

《撮影者コメント》

地元の友達3人。翌日30日に2人は社会人になる為に都会へ引越します。長い間お世話になった北条鉄道の写真を記録し、見えなくなるまで「ありがとう」と手を振っていた姿が印象的でした。



撮影場所：加西市 北条鉄道 田原駅

一般部門



境内に咲く

橋本 利一 (神崎郡)



撮影場所：多可町 青玉神社

《撮影者コメント》

道の駅、横の青玉神社境内には、ミツマタが、群生しています。



撮影場所：三木市 上津橋

夕焼けを突き進む

小山 正弘 (三木市)

《撮影者コメント》

真っ赤な夕焼けの中を突き進む神戸電鉄。

一般部門



小さな妖精

高橋 三吉 (加古川市)



撮影場所：加西市 網引湿原

《撮影者コメント》

加西市の網引湿原には、希少な植物や日本で一番小さいハッチョウトンボが生息しています。いつまでも残していきたい自然ゆたかな湿原です。



撮影場所：加西市 県立播磨農校周辺

北播磨にコウノトリ

松本 高年 (姫路市)

《撮影者コメント》

兵庫県下では、ため池のある場所でコウノトリの飛来をよく見かけるようになりました。播磨農校のある加西市も繁殖に適しているのかと思います。

一般部門



夕暮れのおさんぽ

黒崎 隆志 (西脇市)

《撮影者コメント》

おだやかな天候が続いたおかげで、あまり落葉しなかったメタセコイヤ! 12月になった夕方4時過ぎの西陽が赤く染まる、おだやかな時を楽しむ親子連れをほほえましく感じた光景です。



撮影場所 西脇市 日本へそ公園

放たれた矢

石原 修 (三木市)



《撮影者コメント》

コロナ禍でも五穀豊穡を祈願して行われた御弓神事。射手の手から矢が放たれた瞬間をとらえた。的の真中を射抜くと豊作とされ、邪道が打ち払われるという。残念ながら福餅まきは中止。破邪顕正の世の中を願っている。

撮影場所：三木市 御坂神社 (御弓神事)

※撮影者のコメントは原文のとおり掲載しております。

一般部門

木漏れ陽の参道

藤井 建 (西脇市)

《撮影者コメント》

5月の終わり、参道は初夏の木漏れ陽に溢れていました。陰陽の文様が織りなすシルエットに神宿る様でした。



撮影場所：西脇市 黒田庄町黒田瀧尾神社

思い出の椅子

木下 啓成 (西脇市)



撮影場所：西脇市 西脇市民会館

《撮影者コメント》

元西脇市民会館大ホールにて。小さい子供時代から慣れ親しんできたこのホールの椅子で音楽や式典など思い出させてくれる椅子も会館閉鎖により座る事も触る事も出来なくなり写真の姿だけでも残せられたらなどと思い撮影しました。

一般部門



撮影場所：三木市 三木山森林公園



初夏の休日

渡邊 俊幸 (たつの市)

《撮影者コメント》

三木山森林公園は森の中央に大きな原っぱとハスの咲く池などがあり、散歩や虫取りなど市民の憩いの場として利用されています。

遺産継承

久保田 修 (神戸市)



撮影場所：多可町 青玉神社

《撮影者コメント》

杉の大樹にかこまれて、伝統の社の修復作業中でした。千年杉やイチヨウの大樹もあるこの社のすべての遺産がいつまでも残されますように！

一般部門

もみじのお寺に導かれ

田中 康祐 (小野市)

《撮影者コメント》

三木市志染町の大谷山伽耶院へ写真撮りに行きました。帰ろうと思って仁天堂に来たときに、もみじが斜光で映えて美しかったので、ぜひ写してみたいと思って撮りました。



撮影場所：三木市 大谷山伽耶院

人形塚供養塔

荒木 恵子 (丹波市)

《撮影者コメント》

今年はコロナの中で参加者(持ち込み)人形も少なかったです。授かるのを祈り千体地藏を入休家にもちかえて授かると新しい地藏様を作っておかえしする。



撮影場所：三木市 志染町 千体地藏(人形供養)